

学芸発表会を終えて～「協働」して創ることの大切さ～

校長 風間 浩也

台風が夏の名残を全て吹き払ってから、舞台の場面が転換をするように季節があっという間に入れ替わってしまいました。学校の周囲でキンモクセイの香りが漂っていると、つい秋の空気を深呼吸してしまうこの頃です。

先日、芦花中伝統行事である「学芸発表会 舞台部門」が大いに盛り上がって幕を閉じました。今年も感動のクラス合唱を筆頭に、弁論、英語スピーチ、部活発表で日頃の成果を見せてもらいました。また、3年生のダンスについては、各クラスが工夫を凝らして、一人一人の個性を最大限に生かした振り付けで盛り上げてくれました。きっと後輩たちは、「先輩のように踊りたい」と憧れの気持ちを抱いたことだと思います。

私が特にダンスの発表で後輩たちに見習ってほしいと思った点は、ダンスを創作する過程で、多くの考え方やアイデアをぶつけ合いながら、「自分たちらしい発表」を完成させたであろうことです。制作の過程でクラスの「持ち味」や「一人一人のよさ」、「得手不得手」などを考えて、みんなで「協働」して作り上げたことが、楽しげな雰囲気や発表後の満足げな様子などから感じられました。

先週の金曜日に区の研究指定校である小学校の研究発表を参観する機会を得ました。その小学校はApple認定校としてタブレット(iPad)の活用が非常に進んだ学校で、授業の中でも実に多くのアプリを自分たちで主体的に選択し、使いこなしている様子が見られました。そのこと自体も素晴らしいのですが、タブレットを活用することが目的化するのではなく、タブレットはあくまでも「学びの相棒」として使っていることに感心しました。その学校では、友だちの考えに触れて自分の考えを広げることや目的に向かってチームで協力するという「協働」が何よりも大切にされている点を大いに見習い、参考としたいと思いました。

研究発表当日にご講演いただいた熊本大学大学院 前田康裕特任教授の言葉を紹介します。

「他者との対話や協働」「相手に説明する」という方法が自分自身の理解を促すことに極めて有効であることを教師は子どもたちに伝えるべきです。また、授業に対話や協働を取り入れることで、「分からぬときには聞き合える」「多様な考え方から学び合える」「自分が頼りにされていると感じられる」といった良質な相互作用が生まれます。この経験が、子どもたちの自ら学ぶ力と自律性を育てる大切な土台となるのです。

(前田康裕「まんがで知る学習方略」※2025年12月刊行予定より)

これからの時代を生き抜くためには、他者と「協働」しながら自らの資質・能力を高めていく力が必要です。本校では、今年度、区の研究指定校として「魅力ある学校」をテーマに研究を進めています。また、都の「デジタルを活用したこれからの学び」の推進校として、授業改善等に取り組んでいるところです。学習指導要領で示されている「主体的・対話的で深い学び」の実現のために、指導技術の向上はもちろん大切ですが、私が最も大切にしたいと考えていることは、学校において「協働的な学びの土台」がしっかりと築けていることです。それは、誰もが安心して楽しく学ぶ環境が整っていること、そのために、仲間や友だち、先生や地域の方々と信頼の絆に結ばれている関係性があることだと思います。

本校の現状を表す指標として、今年度の「全国学力・学習状況調査」の生徒質問の結果の一部を示します。「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方方に気づいたりすることができますか」については、本校 92.4 ポイントと非常に高い肯定率です。また、「授業で PC・タブレットなどの ICT 機器をどの程度使用しましたか」では、本校の肯定率 87.0 ポイントという数値は全国を 33.8 ポイントも上回っています。その他、「先生への相談しやすさ」や「先生がよいところを認めてくれる」と感じる割合も、都や全国を大きく上回っています。その上で、「学校に行くのは楽しいと思いますか」の肯定率は 94.6% と昨年度よりもさらに向上し、全国や都より 10 ポイント近く高い数値です。これは、「誰もが楽しい学校」を実現したいと思っている私には嬉しい結果です。

この結果を通して、本校では「協働的な学びの土台」がほぼ整っていると思うと同時に、一方で、まだ 100% に足りていない現状について、一人一人の顔を思い描きながら考えていかなければならぬと胸に誓っています。

地域や保護者の皆さんにおかれましては、これからも芦花の子どもたちが、今回のような素晴らしい学習成果の発表を今後も継続していくために、安心して伸び伸びと学び育つ環境を一緒に作っていただけますようお願いいたします。

10月の行事

【世田谷区連合陸上競技大会】

10月2日(木)、大蔵総合運動場で、世田谷区連合陸上競技大会が実施され、代表生徒29名が出場しました。どの選手も、夏休みや放課後の時間、学校がお休みだった大会前日(都民の日)にも全員が集まって練習を重ねてきた成果を発揮することができました。入賞者多数！おめでとうございます。練習には、例年同様、日本女子体育大学の学生の皆さんが協力してくださいました。ありがとうございました。

★女子共通 800m 1位 ★1年女子4×100m リレー 2位
★1年男子 1500m 4位 ★男子共通 走り高跳び 5位 2名
★1年男子 4×100m リレー 7位 ★1年男子 100m 8位



【学芸発表会】

10月18日(土)、学芸発表会(舞台の部)が実施されました。体育館にはのべ500名を超える保護者や地域の方々が応援に来てくださいました。1組の合奏、弁論、英語スピーチ、合唱発表会。緊張を乗り越え、堂々とした姿を見せてくださいました。アコギ部発表とパソコン部のクイズ大会、3年生のダンス発表では会場全体が一体となるように、盛り上げてくれました。本番に向けて全力で準備してきた努力の成果や、仲間と力を合わせて一つのものを創り上げることの素晴らしさ。芦花中の生徒、教職員、保護者、地域の皆様が一体となって、感動を呼んだ学芸発表会でした。保護者、地域の方々、お忙しい中、ご参観いただき、誠にありがとうございました。



学校関係者評価アンケート ご協力のお願い

「学校評価関係者アンケート」を10月17日(木)配布いたしました。保護者の方は、URL又は2次元コードによる回答となります。地域の方には紙の回答用紙もお配りしています。回答期間は10月17日(木)から10月31日(木)の3週間です。芦花中学校をさらによくするためのご意見をお聞かせください。ご入力がまだの方はご協力をよろしくお願ひいたします。アンケートの所要時間は、5分程度です。(複数のお子様がいらっしゃるご家庭は、下の学年のお子様としてご回答ください)

【保護者用選択式】



【保護者用記述式】



【地域用選択式】



【地域用記述式】



芦花中学校をさらに良い学校にしていくためのご意見をお待ちしております！(10/31木〆切)

11月の主な行事予定

3日(月)	文化の日	18日(火)	定期考查 1日目(社英国音体)
4日(火)	開校記念日 避難訓練	19日(水)	定期考查 2日目(理数技家美)
5日(水)	世中研のため午前授業	20日(木)	合同マラソン大会(1組)
7日(金)	セーフティ教室	23日(日)	勤労感謝の日
10日(月)	専門委員会、中央委員会	24日(月)	振替休業日
12日(水)	世中研のため午前授業	25日(火)	生徒会朝礼
17日(月)	全校朝礼	28日(金)	校外学習(2学年、1組2学年)

